

「からだの絵本」を主題から探す方法の提案

川嶋 裕子

【背景】人体の仕組みを説明した「からだの絵本」を利用する研究が増えている。その一方で、子どもの年齢、個性、場面を考慮した「からだの絵本」の検索は難しく、司書などの担当者の経験に頼っているのが現状である。絵本の主題に則した分類記号の付与と件名の付与の状況は図書館ごとに異なり、「からだの絵本」など特定の主題の絵本を探すためには一冊ずつ内容を確認しなければならない。このように、内容・テーマを決めて「からだの絵本」を探すことは難しい。

【目的】本研究では、保護者と子どもの意向が反映された「からだの絵本」への到達を支援することを目的とし、保護者が主題を選び、その主題内容の「からだの絵本」群の中から子どもが好みの絵本を選ぶことのできるツールを提案する。

【方法】絵本を探すためのツール5種の現状調査により問題点を明らかにした。さらに、「からだの絵本」の主題内容を表すために、からだの部位を表す選択語と病気や症状を表す選択語のリストを作成した。さらに「からだの絵本」に作成した選択語を付与し、書誌事項とともに蓄積して、「からだの絵本」を主題内容から検索するツールを試作した。

本ツールでは、タイトル、シリーズ名、著者名、出版年、出版社、ISBN、あらすじの書誌事項7項目と、登場する病気やからだの状態、からだの部位、主人公像の主題項目3項目を、検索結果として表示するようにした。「からだの絵本」は、船橋市立図書館の蔵書を対象に書架に並ぶ絵本の内容を確認し、109冊を研究対象とした。

【結果および考察】試作した「からだの絵本」の検索ツールでは、「からだの部位からさがす」と「病気や症状からさがす」の2つの方法により絵本を検索できるようにした。また、「からだの部位」と「病気や症状」の2つの選択語のリストを表示し、このなかから選択する検索方法を採用したことにより、主題を指定した「からだの絵本」の検索が容易になった。

検索結果は、はじめに簡易表示し、絵本を選択すると詳細が表示されるようにした。詳細表示においては、表紙の画像、あらすじ、主人公像を表示させた結果、子どもの好みを絵本の選択に反映できるようになり、保護者と子どもの意向が反映された「からだの絵本」への到達を支援することが可能になった。

しかし、病気やからだの部位を示す選択語は、「からだの絵本」から抽出した部位や病名・症状を整理して設定したため、見落としている部位や病名・症状がある可能性がある。また新しい主題項目が増えると、主題項目の整理方法も再検討した方がよい可能性がある。評価実験を実施し、本ツールに残されている問題点を明らかにすれば、よりよいツールにすることができると思う。

(指導教員 岩澤まり子)